

生徒個々が意欲的に課題解決するための工夫
高等学校第2学年 E 球技 イ ネット型「バドミントン」

1 単元の目標

- 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができるようにする。 【知識及び技能】
- チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】

2 共生を基盤とした授業づくりにおける仕掛け

(1) 子ども一人ひとりの課題解決に応じて、自分の動きを身に付けることができる場

ICTの活用

- ①授業の導入段階で、「本時の目標」や「運動の行い方」「運動観察の方法」について、タブレットを活用し明確に提示することで、目的をもった学習活動が展開できるようにする。
- ②教師が模範となる動きを撮影した「モデル動画」により、視覚的な印象を与えることで、学習内容をより深く理解できるようにする。
- ③タブレットでの動画撮影及び遅延再生機能を使い、生徒個々の動きについて「瞬時の共有化」を図ることにより、「試行の繰り返し」を効果的なものにする。
毎時間記入する体育カードにも「自分の動きが視覚的にわかるので、修正すべきところがわかってよかった」と書いてあった。

(2) 子ども同士が学び合いながら動きを身に付けるための仕掛け

- ①6グループ（4名ずつ）を編成し、習熟度の高い生徒をスモールティーチャー（以下ST）として各チーム1名配置し、基本技術の習得、課題発見・解決のための練習、ゲームなどにおいて、生徒同士が学び合いながら活動できるようにする。また、生徒が連携した動きを練習する際には、動画撮影や分析、良かった点や問題点を指摘し合う活動を必ず設定する。
- ②動画をコマ送りできるアプリを使い、技術習得につまずきが見られる生徒（チーム）の動きを撮影し、「モデル動画」と比較する。
体育カードには、「比較することで、足の動きや手の角度の違いなど意識すべきところがわかった」と記載されているものが多かった。また、「次の練習で意識していきたい」と記載されるものも多く学び合いがとても効果的だったと考える。

3 成果と課題

(1) 成果

- 単元前半に知識を基盤とする授業を展開することで、生徒達が明確な目的意識（今回の授業を通して身に付けるべき技能）をもって学習活動に臨むことができた。

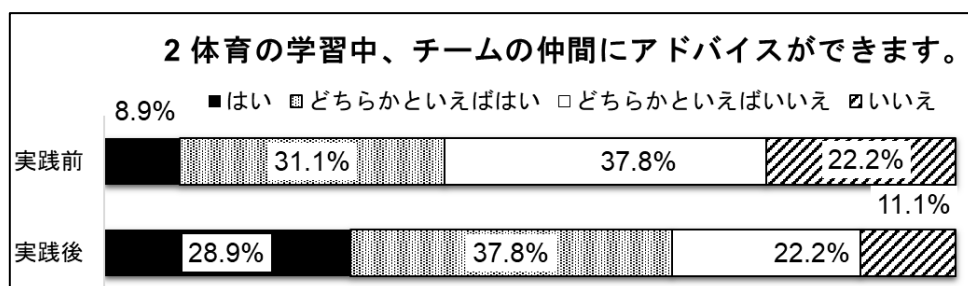


○ 見る視点：打ち方や動作、シャトルの軌道、2人の動き等について、ICTを活用した学習活動を行うことで、運動の行い方を理解し、運動課題の発見・解決に向け、主体的に取り組む生徒が増えた。

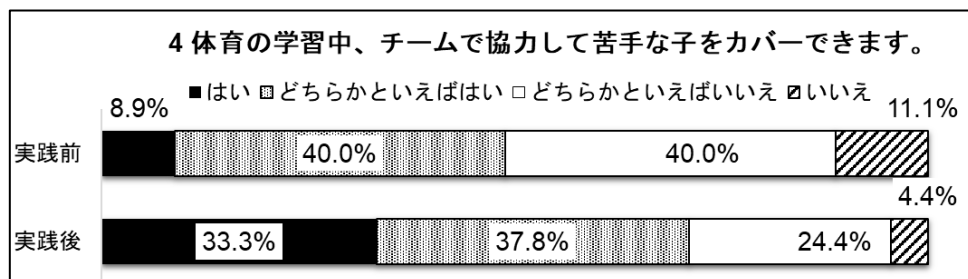


○ 単元を通じたグループ活動（小規模班編制・STの導入）により、仲間同士の充実した言語活動が増え、仲間とともに運動やスポーツに親しむ資質や能力を育むことができた。

○ 単元実施前後に行った「体育の学習に関する生徒アンケート（21項目質問アンケート）」において、「体育の学習中、チームの仲間にアドバイスができます」と回答した生徒が大幅に増加していたことから、本授業実践を通して技能差に関わらず生徒同士が学びあう学習が展開できたと考える。



○ 体育の学習中、「チームで協力して苦手な子をカバーできます」と回答した生徒が大幅に増加していたことから、STを置くことにより生徒同士の学び合いが生まれチームで上達しようとする姿がみられた。本授業実践を通して技能差に関わらず生徒同士が学びあう学習が展開できたと考える。

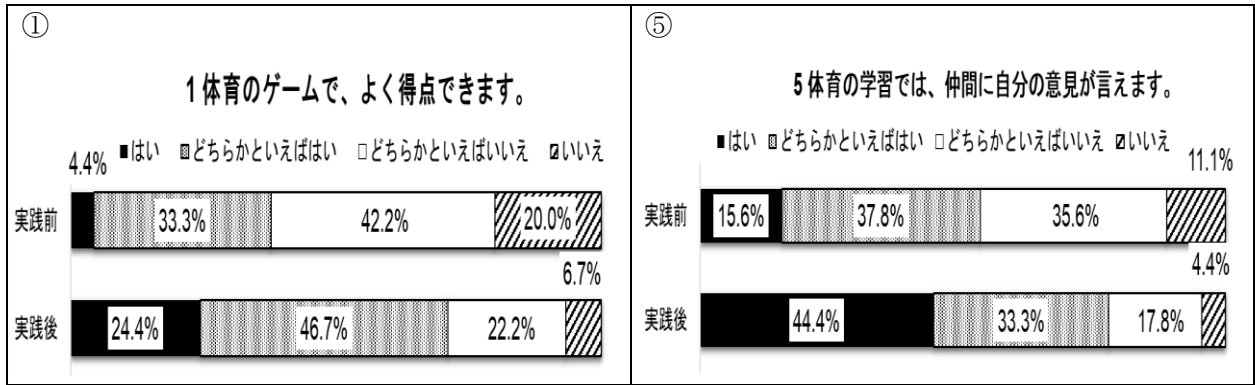


(2) 課題

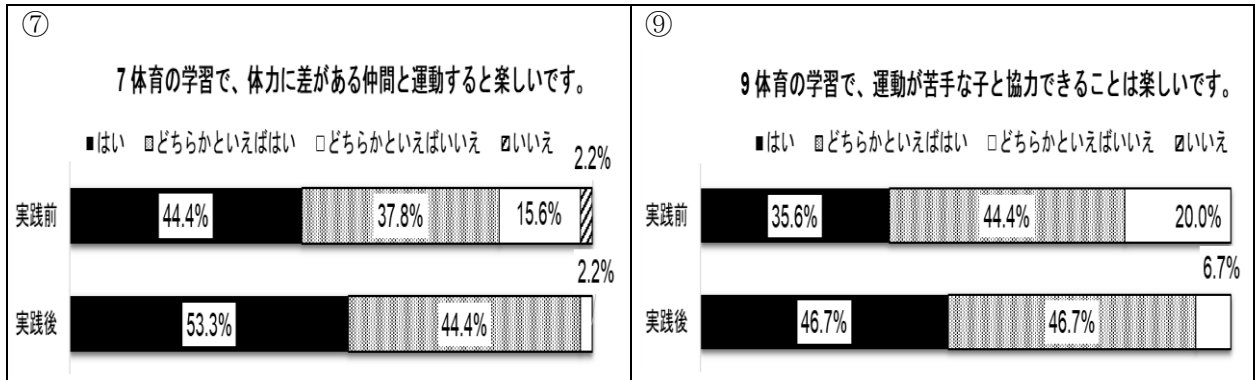
- 生徒の主体性を求めすぎるあまり、教師の発問が抽象的になることが多かった。その結果、兄弟チームで動きを分析する際、どのような視点で分析すればよいか生徒の理解が不十分なまま学び合う場面があった。学び合いの学習の前に、「何を、どのように分析すればよいか」明確に提示することが必要であると考え。また、学び合いにおいて、全ての生徒が主体的に学習に参加することができるように、個別の声かけなども工夫していきたい。
- STを配置した本実践においては、STに活動を任せすぎになり、グループによっては適切な課題解決活動が展開できない場面があった。STがうまく活動をリードする場面、教師が個別指導・一斉指導する場면을明確にした学習展開を、今後工夫することが必要であると感じた。

【児童生徒の変容】

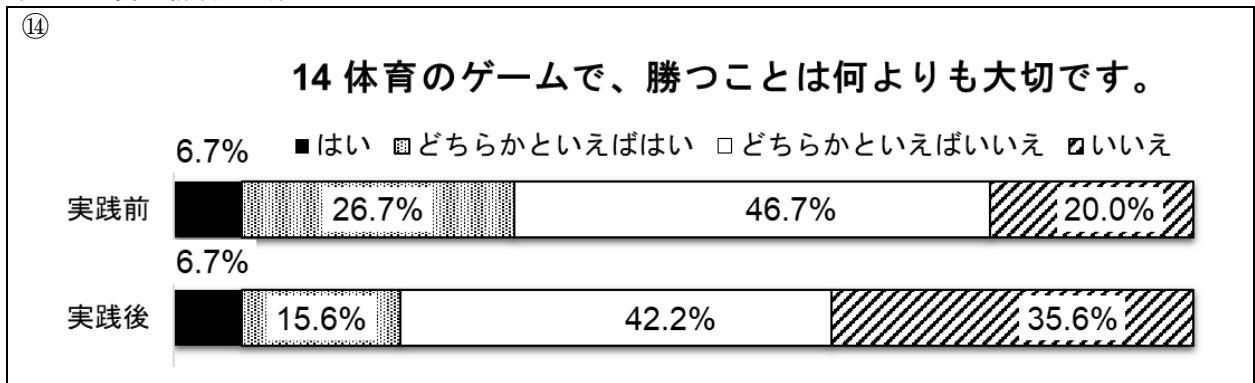
〔Ⅰ リーダーシップ〕



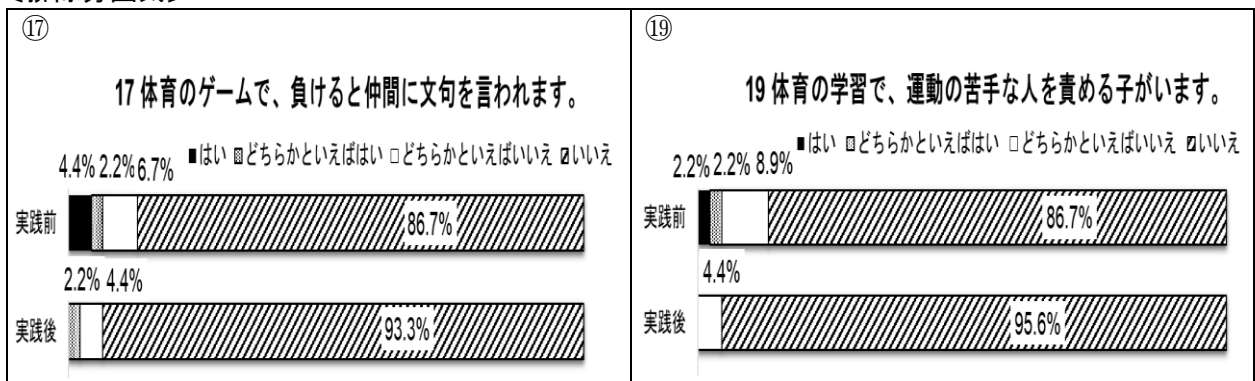
〔Ⅱ ちがいの受容〕



〔Ⅴ 過度な勝利志向〕



〔排除雰囲気〕



【授業実践協力者の声】

体育の授業中に、男女間でよく話す姿が多く見られるようになりました。

